

○ 行政評価制度の外部評価について

平成 29 年 11 月
総務課人事管理室

平成 27 年度に村上市行政評価制度を構築し、村上市行政評価実施要綱により昨年度から市の主要事務事業を対象に評価を実施しています。

今年度の事中評価は 146 事業を対象に実施しており、以下の事務事業について外部評価を実施し、答申内容を今後の事業運営の参考にさせていただきます。

1 評価の対象

第 3 回行政改革推進委員会（平成 29 年 10 月 19 日）において選定いただいた 2 事業について外部評価を実施いたします。

| 事業名 | 担当課 |
|-------------------|-----|
| ごみ・危険物等の収集 | 環境課 |
| あらかわ病児保育センターの指定管理 | 福祉課 |

2 評価結果の取扱い

評価結果については、次年度の予算要求の重要な意見として内部組織である行財政改革推進本部会議で評価結果を報告し、方針について検討いたします。

3 事業内容説明の日程等

行政改革推進委員会タイムスケジュールのと通りの日程及び時間で行います。

4 評価方法

事務事業評価シートを用いて、市内部評価と同一の基準で対象事業を市民の目線で客観的に評価を行っていただきます。

- ① 対象事業の事務事業評価シートを基に、担当課による事業評価理由説明（15 分）を受けた後、質疑応答（45 分）を行います。
- ② 「様式第 2 号事務事業評価シート（行政改革推進委員会）」（記載方法は、今回配布の【資料No.2-2】参照）を用いて、説明、質疑の段階中に各委員で評価項目の考察を行っていただきます。
- ③ 説明、質疑終了後、各委員の評価案を基に、委員会として対象事業の評価及びその理由、方向性等の協議を行っていただきます。（20 分）
- ④ 第 4 回委員会にて質疑や評価の協議で出た意見を基に、事務局が作成した評価案について最終協議を行い、評価を確定して第 5 回で市長へ答申していただきます。

事務事業評価シート（行政改革推進委員会）

| 事務事業名称 | | 事務事業の名称です。 | |
|--------|-------------|--|--|
| 視点 | 評価項目 | 説明 | |
| 妥当性 | 自治体関与の妥当性 | 「公共性や公平性」、「他の団体との役割分担」等の視点から市が実施（関与）する理由 | |
| | 目的の妥当性 | 評価項目における考え方と段階評価「①妥当性」の評価項目ごとの考え方を参考に評価してください。 | |
| | 対象（受益者）の妥当性 | 対象となる範囲は間違っていないか。 | |
| | | | |
| 有効性 | 目標（改善）達成度 | 指標の単年目標値は達成できたか。指標の長期的目標値は達成できるか。 | |
| | 類似事業の存在 | 評価項目における考え方と段階評価「②有効性」の評価項目ごとの考え方を参考に評価してください。 | |
| | 上位施策への貢献度 | 事業の推進に貢献しているか。 | |
| | | | |
| 効率性 | コスト効率 | 実施手段の適正化、電子化、人員の見直しによりコスト効率は高いか。 | |
| | 実施主体の適正性 | 評価項目における考え方と段階評価「③効率性」の評価項目ごとの考え方を参考に評価してください。 | |
| | 負担割合の適正性 | 負担割合は適正か。 | |
| | | | |

この欄は、各評価項目の組み合わせにより評価が決まります。

【各視点に対する改善の着眼点】

| 視 点 | | 改 善 の 着 眼 点 |
|-----|--|---|
| 妥当性 | | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 評価項目の評価の組み合わせにより別紙「評価項目における視点表」の文言が記入されます。これにより事業の改善する箇所等が分かり、総合評価、改善提案の参考となります。 </div> |
| 有効性 | | |
| 効率性 | | |

【総合評価の見方】

| | |
|---|-------------------------------|
| A | 計画どおりに事業を進めることが適当 |
| B | 事業の進め方等に改善が必要 |
| C | 事業の統合、規模、内容、実施主体の見直しが必要 |
| D | 事業の完了または、抜本的見直し、民営化、休廃止の検討が必要 |

【総合評価における今後の方向性の目安】

| | | | | | |
|----------------------------|-----|----|-----|-----|----|
| 成 果 の 方 向 性 | 拡充 | | B・C | B・C | C |
| | 維持 | | B | A | |
| | 縮小 | | C | | |
| | 休廃止 | D | | | |
| | | 皆減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| コスト投入の方向性 | | | | | |

| 総合評価 | 説明 |
|------|---|
| | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 上記、【各視点に対する改善の着眼点】により総合評価を決定していただき、その理由を記載していただきます。視点で一つでも「A」以外があれば課題・改善するものがあるので「A」にはなりません。 </div> |

【今後の方向性】

| 今後の方向性 | |
|--------|---|
| 結 論 | 当該事業の今後の方向性かどうか。 <input type="checkbox"/> 拡大基調（コスト拡大、成果拡充） <input type="checkbox"/> 生産性向上（コスト維持、成果拡大） <input type="checkbox"/> 効率性向上（コスト縮小、成果維持） <input type="checkbox"/> 協働化（コスト縮小、成果拡大） <input type="checkbox"/> 現状維持（コスト維持、成果維持） <input type="checkbox"/> 縮小（コスト縮小、成果縮小） <input type="checkbox"/> 休・廃止（コスト皆減、 |
| | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 総合評価を基に今後の方向性を決定していただきます。 上記「総合評価における今後の方向性の目安」により方向性がある程度決まります。総合評価が「B」ならば【総合評価における今後の方向性の目安】で「B」の記載されている方向性しかかなり得ないというものです。 </div> |

① 妥当性

| 評価項目 | 考え方 | 評価段階 |
|-------------|---|------------|
| 自治体関与の妥当性 | 自治体が事務事業を実施する理由は適当なものか 国、都道府県、市町村の役割分担は妥当か また、公平性、公共性の観点から、民間やNPO、 住民などが実施する余地はないか | 3 妥当である |
| | | 2 検討の余地がある |
| | | 1 妥当でない |
| 目的の妥当性 | 社会環境やニーズ、総合計画の体系を考慮して目的 は妥当か | 3 妥当である |
| | | 2 検討の余地がある |
| | | 1 妥当でない |
| 対象（受益者）の妥当性 | 事務事業の対象（受益者）は、住民ニーズや自治体 の課題に対処するに当たって適当なものか | 3 妥当である |
| | | 2 検討の余地がある |
| | | 1 妥当でない |

② 有効性

| 評価項目 | 考え方 | 評価段階 |
|-----------|--|------------------|
| 目標（改善）達成度 | 成果指標の単年度の目標値は達成できたか（できそ うか） 成果指標の長期的な目標値は達成できそうか | 3 目標以上 |
| | | 2 概ね目標どおり |
| | | 1 達成できない |
| 類似事業の存在 | 他の部局において、同じような事務事業が存在する のか | 3 存在しない |
| | | 2 存在する（検討の余地がある） |
| | | 1 存在する（見直しが必要） |
| 上位施策への貢献度 | 事業の成果は上位施策の目標達成に貢献しているか | 3 大いに貢献している |
| | | 2 普通（貢献している） |
| | | 1 低い（不十分である） |

③ 効率性

| 評価項目 | 考え方 | 評価段階 |
|----------|--|-----------------------|
| コスト効率 | 事務事業の過程に無駄はないか 単位当たりのコストは減少しているか 実施手段の適正化や電子化、人員の見直し等により コスト削減の余地はないか | 3 適正である（削減の余地は ない） |
| | | 2 普通（削減の余地がある） |
| | | 1 適正でない（削減が必要） |
| 実施主体の適正化 | 事務事業の実施主体は最適か 民間委託や指定管理者制度導入などのより良い代替 案は検討できないか | 3 適正である |
| | | 2 改善の余地がある |
| | | 1 適正でない |
| 負担割合の適正化 | コスト全体に占める自治体の負担（補助）割合は適 正か | 3 適正である |
| | | 2 改善の余地がある |
| | | 1 適正でない |

例

事務事業評価シート（行政改革推進委員会）

資料No.2-4

| 事務事業名称 | | 防災対策一般経費（自主防災組織の育成支援） | |
|--------|--------------|--|--|
| 視点 | 評価項目 | 説明 | |
| 妥当性 | A | 自治体関与の妥当性 | 「公共性や公平性」、「他の団体との役割分担」等の視点から市が実施（関与）する理由 |
| | | 3 妥当である | 自主防災組織主体で実施できるまでの支援することが市としての関わりと考えるので、妥当と考える。 |
| | | 目的の妥当性 | 当該事業に対する市民ニーズ、総合計画の上位施策を考慮して目的は妥当なものか。 |
| | | 3 妥当である | 様々な災害に対し、自主防災組織が「自助」及び「公助」の意識を持ってもらうために当事業は、妥当と考える。 |
| | | 対象（受益者）の妥当性 | 対象となっている人（モノ）にずれはないか。対象とする範囲は間違っていないか。 |
| | 3 妥当である | 自主防災組織については、町内・集落単位のコミュニティが活動上妥当と考える。 | |
| 有効性 | B | 目標（改善）達成度 | 指標の単年目標値は達成できたか。指標の長期的目標値は達成できるか。 |
| | | 1 達成できない | 限界集落など地域性があり、結成率が低い。 |
| | | 類似事業の存在 | 同種・同類の事業を行っていないか。 |
| | | 3 存在しない | 類似の事業はない。 |
| | | 上位施策への貢献度 | 事業の成果は上位施策の目的達成に貢献しているか。 |
| | 2 普通（貢献している） | 目標値に達していないが災害に備えた安全なまちづくりに貢献していると考ええる。 | |
| 効率性 | A | コスト効率 | 実施手段の適正化、電子化、人員の見直しによりコスト効率は高いか。 |
| | | 3 適正である（削減の余地はない） | 支援策としては妥当であり、他にコストを削減する方法はないと考える。 |
| | | 実施主体の適正性 | 民間委託、指定管理者制度などの導入によりコスト削減に努めているか、今後導入することは可能か。 |
| | | 3 適正である | 将来防災士が自主的活動ができる協議会等が出来れば、部分的に以降は可能と考えるが現段階では市が担うべきである。 |
| | | 負担割合の適正性 | コスト全体に占める市の負担（補助）割合や受益者負担割合は適正か。 |
| | 3 適正である | 補助金については市の基準に基づき実施している。 | |

【各視点に対する改善の着眼点】

| 視 点 | | 改 善 の 着 眼 点 |
|-----|---|---|
| 妥当性 | A | 自治体関与、目的、対象の妥当性に問題なし。 |
| 有効性 | B | 上位施策への貢献度が普通であれば、有効性をさらに高めるために若干の改善が必要である |
| 効率性 | A | コスト効率、実施主体、負担割合に問題なし |

【総合評価の見方】

| | |
|---|-------------------------|
| A | 計画どおりに事業を進めることが適当 |
| B | 事業の進め方等に改善が必要 |
| C | 事業の統合、規模、内容、実施主体の見直しが必要 |
| D | 事業の抜本的見直し、民営化、休廃止の検討が必要 |

【総合評価における今後の方向性の目安】

| | | | | | |
|----------------------------|-----|---|-----|-----|----|
| 成 果 の 方 向 性 | 拡充 | | B・C | B・C | C |
| | 維持 | | B | A | |
| | 縮小 | | C | | |
| | 休廃止 | D | | | |
| | 皆減 | | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| コスト投入の方向性 | | | | | |

| | | | |
|------|---|----|----------------------------|
| 総合評価 | B | 説明 | 防災士の登録者数を伸ばすためにPR等が必要と考える。 |
|------|---|----|----------------------------|

【今後の方向性】

| 今後の方向性 | |
|--------|---|
| 結 論 | <p>当該事業の今後の方向性はどうか。</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡大基調（コスト拡大、成果拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 生産性向上（コスト維持、成果拡大） <input type="checkbox"/> 効率性向上（コスト縮小、成果維持） </p> <p> <input type="checkbox"/> 協働化（コスト縮小、成果拡大） <input type="checkbox"/> 現状維持（コスト維持、成果維持） <input type="checkbox"/> 縮小（コスト縮小、成果縮小） </p> <p> <input type="checkbox"/> 休・廃止（コスト皆減、成果休廃止） </p> |
| | (意見) |